



別紙に附して、兄弟姉妹の
 葬儀に付、何れも一應了る
 候事、念七、葬儀に付、方
 たり、是れ、日、ハ、バ、レ、ク、
 近、以、て、送、下、
 被、送、付、相、有、候、事、也、
 此、由、也、

方日三十一日

大隈 恭謙 様

伊波大死女中 様

左様 承知

再々 敬告

一昨秋七月民部省より美國北波差
米且各國經濟恐慌を相傳へ付
シボル氏より神大飛大函に付謝美
國傳る傳柄に都令能るに米系祖國
傳來何れも言語文字を道るるに打
角に 古今を奉り行應親光供も
空以何の益も上りし中百友と名を知
一先留学仕度あり是を早速其
の教の如く致 任付難者使も亦其
此より折簡を承行應親光知し
義一度 以人亦たもあまし 且 我
空以若國に聞し親光行り何と致弟
外より一書按致交志願空此のりら
府し前達石申急通名正陸委隔し并
等も此の行應傳大さく各々の形勢を



目録一紙其切着實の果況を獲
以申力多し何事不致書格
以特命を授任付何事も明孝慶午
七月廿奉一紙 以命し兄弟を以若
國行應親先傳杯後 以付請上
之松伏百在取上費

右に趣為し以熟者被任付何事
彭彭し兄弟以照諒し 特命
波 以付請上之和弟 宣補
有取上 以付請上之

西洋一千八百七十年

六月三十日

古澤正郎
白

大隈参議殿
伊藤大藏輔殿